【 診療科:消化器内科 】
【 レジメン登録番号:IA-47 】

〈 Pembrolizumab+GEM+CDDP(q6w)療法 〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)																									
			1	2	3	・・・・・	8	9	10	・・・・・	15	16	17	・・・・・	22	23	24	・・・・・	29	30	31	・・・・・	36	37	38	・・・・・	42
キイトルーダ	400mg/body	div	○																								
ゲムシタビン	1000mg/m^2	div	○				○								○				○								
シスプラチン	25mg/㎡	div	○				○								○				○								

【1コース期間: 42 日】 【総コース数: 4コース※1】

【維持療法】

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)																								
			1	2	3	・・・・・	8	9	10	・・・・・	15	16	17	・・・・・	22	23	24	・・・・・	29	30	31	・・・・・	36	37	38	・・・・・	42
キイトルーダ	400mg/body	div	○																								
ゲムシタビン	1000mg/m^2	div	○				○								○				○								

【1コース期間: 42 日】 【総コース数: 制限なし】

【適応癌種:胆道癌 】
【時期: 術前 、 術後 手術不能・進行・再発】
【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

投与プロトコール

<day1>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	フィジオ140 500mL	div(1時間で)
Rp.2	キイトルーダ 400mg/body※2	div(30分で)
	生理食塩水 100mL※3	
Rp.3	生理食塩水 50mL	div(全開で)
Rp.4	5-HT_3R Blocker 1A	div(全開で)
	デキサート 9.9mg	
	生理食塩水 100mL	
Rp.5	ゲムシタビン 1,000mg/m^2	div(30分で)
	5%ブドウ糖液 250mL	
Rp.6	シスプラチン 25mg/m^2	div(1時間で)
	生理食塩水 500mL	
Rp.7	フロセミド 20mg	div(全開で)
	生理食塩液 50mL	
Rp.8	フィジオ140 500mL	div(1時間で)

<day8,22,29>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	フィジオ140 500mL	div(1時間で)
Rp.2	5-HT_3R Blocker 1A	div(全開で)
	デキサート 9.9mg	
	生理食塩水 100mL	
Rp.3	ゲムシタビン 1,000mg/m^2	div(30分で)
	5%ブドウ糖液 250mL	
Rp.4	シスプラチン 25mg/m^2	div(1時間で)
	生理食塩水 500mL	
Rp.5	フロセミド 20mg	div(全開で)
	生理食塩液 50mL	
Rp.6	フィジオ140 500mL	div(1時間で)

4コース終了後の維持療法

<day1>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	キイトルーダ 400mg/body※2	div(30分で)
	生理食塩水 100mL※3	
Rp.2	生理食塩水 50mL	div(全開で)
Rp.3	5-HT_3R Blocker 1A	div(全開で)
	生理食塩水 100mL	
Rp.4	ゲムシタビン 1,000mg/m^2	div(30分で)
	5%ブドウ糖液 250mL	

<day8,22,29>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	5-HT_3R Blocker 1A	div(全開で)
	生理食塩水 100mL	
Rp.2	ゲムシタビン 1,000mg/m^2	div(30分で)
	5%ブドウ糖液 250mL	

【参考文献:キイトルーダ点滴静注添付文書2024年5月改訂、Lancet 2023;401:1853-65 】
【備考:①※1 4コース終了後、増悪なければキイトルーダ、ゲムシタビンによる6週間隔の維持療法を行う。】
【備考:②※2 インラインフィルター(0.2又は0.22μm)を用いて投与すること。】
【備考:③※3 キイトルーダは希釈後の最終濃度が1～10mg/mLとなるように調製すること。】